

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月12日更新

事務事業名		防犯資機材支給事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	17 防犯対策の推進				所属課	安全安心課	担当者名	三谷 三恵
	施策の柱	53 防犯意識の高揚と地域防犯対策				所属班	交通防犯対策班	(内線)	1243
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 10029	根拠法令 合志市生活安全条例 合志市防犯資機材支給要綱			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・結成された地域の自主防災団体に防犯資機材を支給し、活動を支援するものである。 ・現在27の団体が登録、防犯活動を行なっている。 ・支給する資機材の主なものは、帽子、反射ベスト等である。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への主旨説明及び結成促進、結成、防犯資機材（申請受付、発注、支払い、支給）
【主な予算費目】	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費(消耗品費)
【意見や要望】	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	各地区の自主防犯団体へ帽子や反射ベストを提供し活動支援を行なった。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		<ul style="list-style-type: none"> ・防犯団体結成への支援。 ・防犯資機材の支給。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア 自主防犯団体数	→ イ 団体	防犯ベストの支給実績に伴う購入枚数増加による需用費(消耗品費)の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・自主防犯組織	→ ア 防犯資機材の支給を受けた団体数	→ イ 団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・資機材を活用して防犯活動を行う	→ ア 資機材を活用して効果的な防犯活動ができていない団体の割合	→ イ %
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
・資機材支給し、3年を経過している団体が多いことから防犯資機材支給申請件数及び団体数を11とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込	
① 活動指標	ア 団体		24	26	30	27	30	30	30	30	
	イ										
② 対象指標	ア 団体		10	6	11	8	11	11	11	11	
	イ										
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	72	88	97	87	129	129	129	129
		(A) 事業費計	千円	72	88	97	87	129	129	129	129
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	160	160	160	260	160	160	160	160		
(B) 人件費計	千円	630	625	637	989	637	637	637	637		
トータルコスト(A)+(B)	千円	702	713	734	1,076	766	766	766	766		

事務事業名	防犯資機材支給事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 各団体において資機材を利用した活動が行なわれている。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 団体設立へ向けた啓発をより活発に行ない、資機材の支給についても周知を徹底することで目標を達成できる見込みがある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 支給事業の利用と団体設立の促進をはかることで、より成果の工場が期待できる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 自主防犯団体への支援は、本事業のみである。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 資機材購入費のみであり削減は出来ない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 防犯資機材の購入、申請受付、支給事務のみであり削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内の自主的に活動しようという防犯組織が対象であり公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地域が行う自主防犯活動を支援することは、行政の役割である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

現在結成されている防犯団体については、資機材を活用し効果的な防犯活動を行っていただいている。
本事業を利用しさらなる防犯団体の結成を促進したい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						